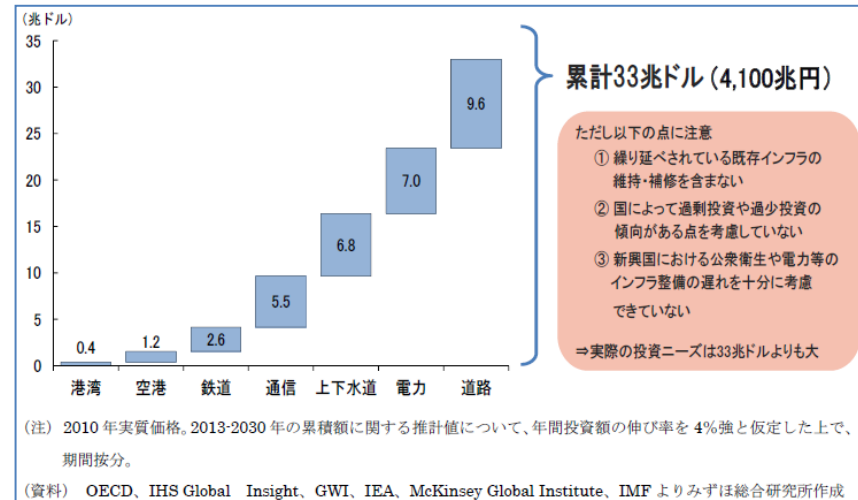


アジア地域で見込まれる鉄鋼スラグ製品の需要

(一社)日本鉄鋼連盟提供資料

<世界のインフラ投資およびアジア圏でのインフラ投資予測>

○世界のインフラ投資(2015~2025年の累積投資必要額)



2015年から2025年の世界のインフラ投資必要額は33兆ドルであり、アジア圏においては約40%の14兆ドル。

○アジア圏のインフラ投資必要額(2015-2020年、2015-2025年)

アジア圏でのインフラ投資必要額のうち、約32%は道路関連への投資

4.6兆ドル/10年 = 約4,600億ドル/年 = 約57兆円/年。

出典:みずほ総合研究所 リサーチTODAY (2015年8月17日)

2010-2020年の必要投資額は8.3兆ドル(2008年基準) — ADB (2009)

単位: 10億ドル

	東アジア 東南アジア	南アジア	中央アジア	太平洋諸島	計
電力	2,396.1	572.9	118.2	0.0	3,087.2
通信	411.8	383.6	54.7	1.0	851.1
電話	112.2	5.3	2.8	0.0	120.2
携帯	265.9	366.0	49.9	1.0	682.8
ブロードバンド	33.7	11.4	1.4	0.0	46.6
輸送	1,267.7	1,051.6	72.8	4.2	2,396.2
空港	46.1	4.4	0.7	0.0	51.2
港湾	171.0	31.7	0.0	0.0	206.1
鉄道	12.7	11.4	4.2	0.0	28.4
道路	1,037.9	1,004.1	64.4	4.2	2,110.5
上下水道	137.1	74.8	16.4	0.8	229.1
上水道	46.5	40.5	6.4	0.0	93.4
下水道	90.6	34.3	10.7	0.0	135.6
2015-2020年の累計	4,212.6	2,083.0	262.1	6.0	6,563.7
2015-2025年の累計					14,317.9

約32%

14,317.9 × 32% = 4580 (10億ドル) = 4.6兆ドル

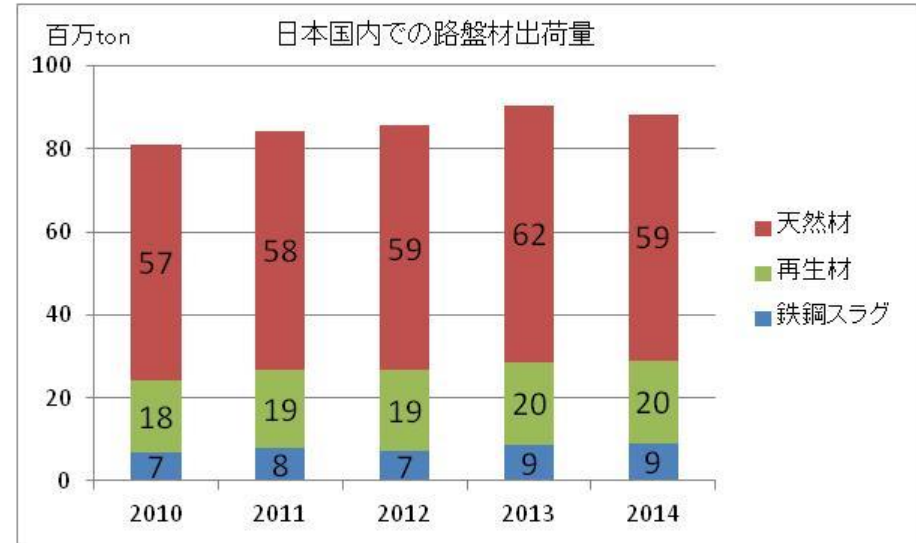
(注) ADBIによる2010-2020年の必要投資額のGDP比と地域・分野別投資シェア、及びIMFの世界経済見通し(2021-2025年の成長率は2020年予測値を利用)を用いて、みずほ総合研究所が再推計した。

(資料) ADBI, IMF より、みずほ総合研究所作成

<日本の道路関連投資および路盤材出荷量との比較>



出典：国土交通省 道路統計年報 道路・都市計画街路事業費総括表より抜粋し作成



出典：・経済産業省 砕石等統計年報(天然材、再生材)
・鉄鋼スラグ協会 鉄鋼スラグ統計年報(鉄鋼スラグ)
上記2資料より抜粋し作成

日本の道路関連への投資額はアジア圏での道路関連への年間投資必要額(推定)の約1/10(例えば、2012年では5.6兆円/57兆円))
(路盤材の年間需要量に関しても約1/10と推定)

日本の年間鉄鋼スラグ路盤材出荷量は、全路盤材出荷量の約10%

(アジア圏内での路盤材の需要は日本の約10倍と推定(8~9億トン))

上記より、日本の年間鉄鋼スラグ路盤材出荷量は、アジア圏の年間路盤材需要量(推定)の1%程度に過ぎず、仮に鉄鋼スラグ路盤材出荷量の10%をアジア圏への輸出に向けると、アジア圏での鉄鋼スラグ路盤材比率は約0.1%と推定される。